

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハピコム相模大野				公表日	205 年 4 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		・次年度より改善 ・利用希望者が待機している状況。現在採用業務を進行中		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・靴置き場や部屋にマークを付ける工夫がある	・入り口の段差や通路		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・個別はすべて個室で行っている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			・不十分な点も残っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・毎週MTGを行っている	・定期的な面談の設定		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・作成している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	・基本的には個々で行っているが、話し合中で共有されたり、自身の支援に取り込めている	・個別担当の為個々になりやすいが、ダブル担当になったら相談の機会が増えると思う		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	7		・個別のみの対応のため
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	6	・個別の為、必要に応じて相談をしている状況	・マンツーマンによる支援のため ・個別支援のため
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	・打ち合わせの時間は取っていないが、報告するように心がけている ・複数職員で担当している児童については必ず行っている	・マンツーマンによる支援のため ・個別支援のため
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・電話・メール・訪問を通し情報交換を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	・就業支援マップへの協力あり	・情報共有は行っているが相互的ではない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	7		・不十分だと思う ・各職員が外部研修へ参加することで補っている
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・情報提供はこまめにできているが、それ以外はできていない	
〇	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	5		・あまりできていない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	2		・予防接種は未確認
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・食事の提供はないが、アレルギーのチェックはしている	・保護者からの収集のみ
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		・不十分であると思う ・個別支援計画書の備考欄への記載を実施 ・事業所内での掲示を継続	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハビコム相模大野

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 76

回収数 62

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	59	2		1	・部屋も広い ・体を大きく動かすプログラムの時は、たまにスペースが少し狭いかなと思うときがある ・活発な息子には狭く感じることもある ・十分な広さだとおもいます ・個室も広くて、机上だけでなく体も動かせるスペースありで色々な活動ができる	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	55	5		2	・1対1で十分足りてる ・キャンセル枠での利用を待っている子がいると聞いたので支援を必要としている人が多いのではないかなと思う。(特に小学生になってから) ・小学生でも通えると思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	56	4		2	・声が聞き取りにくいときがある(騒音) ・子どもが使いやすい机とすが配置されています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	60	1		1	・いつもきれいです	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	60			2	・専門性は高いと思う ・専門性の高い支援をしていただき、大変満足しています ・苦手なこともしずずできるようになってきて、支援を受けている効果が出ていると感じる ・楽しみながら、言葉の発達支援をしていただいていると思います ・いい部分・苦手な分野などを理解していただき支援していただいている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	61			1	・プログラムが個人に合わせて作られている	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	61			1	・いつも丁寧に話を聞いてくださり、計画に反映していただいていると感じます ・少しずつレベルを上げていっていると思います	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	60			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	61			1	・支援が適切であると思う	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	57	2		3	・子どもの好きな遊びも取り入れられている ・FBの際にお話しした内容を次の会のプログラムに反映していただいたり、子どもが飽きないようなプログラムを組んでくださっていると感じます。プログラムの豊富さは本当にすごいと思います。 ・色々な遊びを行っていると思います。子どもはとても楽しそうです ・毎回違うプログラムを取り入れていただいて、飽きずに取り組める	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30	9	15	9	・幼稚園では集団生活をしながら他児童と交流が持っている ・幼稚園に通って、他の子どもと活動しています	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	62				・初めに説明を受けました	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	62				・説明を聞きました	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	10	5	12	・もう少し保護者向けの研修やZOOMがあってもよい ・都度相談させてもらってます	保護者研修の機会を検討していきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	61	1			・子どもの事をよく見ていますと感じます ・フィードバックの時間も確保していた ・日頃からの相談しやすい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58	2		1	・困りごとがあると、新味に聞いてくださり、親にとっても子にとっても寄り添った支援をして頂いてます ・適切なアドバイスも都度頂き、大変助かっています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	61			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	13	17	22	・兄弟がいないのでわかりかねます ・交流会の開催などは分かりませんが、先生との相談はできていると思います	交流会の実施を検討していきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	55	2		5		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	61			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	10		18		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	60			1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	7	2	15	・しっかりと説明を受けている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	7	3	30	・訓練は分かりませんが、ヘルメットや出口は分かりやすく準備・整備されており、すぐ避難できると思います	訓練の頻度を高めます
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	5		10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	5	1	17		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	62				・安心していると思います。どんどん先生に話をするようになりました ・通って3年以上になるので、とても安心している	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	61	1			・プログラムを楽しんでいる ・最初は緊張していたが、慣れると毎週楽しみにしている ・行くのを楽しみにしています ・嫌がることなく楽しみに通所できています ・楽しく通えています。本人が楽しめる内容で支援をいただいているので感謝しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	59	2		1		